

分数や小数はいつ生まれたの？

分数と小数のれきしを知ろう！

先に生まれたのは分数で、今から 3000 年以^{いじょう}上前の古代エジプトでつくられました。その当時は、 $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{3}$ のような分子が 1 の^{たん い ぶん すう}単位分数と、そのほかには $\frac{2}{3}$ だけを使っていたといわれています。

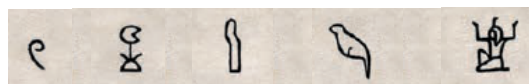


$\frac{1}{2}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{2}{3}$ $\frac{1}{4}$ $\frac{1}{10}$

4 上 161 ページに、
古代エジプトの整数の
表し方が出ているね。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



100 1000 10000 100000 1000000

▲4 上 161 ページ

また、小数は、今から約^{やく}400 年前、ベルギーのシモン・ステビンによってつくられました。分数を使った計算がとてもふくざつだったことから、ステビンは、分母が 10 や 100 のような数だけにして計算をかんたんにする^{ほうほう}方法を考えました。

たとえば^{たと}9.876 は、右のように表しました。

9①8①7②6③

もっと広がる算数

上の古代エジプトの数字を使って、分母が 10 までの単位分数を表してみましょう。
また、ステビンの方法でいろいろな小数を表してみましょう。